

光市医師会報

平成17年1月号

No.369



光市医師会

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/hikarishi/isikaih/hikari.htm>

巻頭言

年頭にあたり

光市医師会 会長 河村康明

平成17年の新春を迎えるにあたり、光市医師会員の皆様方にごあいさつを申しのべさせていただきます。

平成16年4月より伝統ある光市医師会会長に選出され8ヶ月が過ぎようとしています。この間、大きな変化もなく職務を全うさせていただいたことは、ひとえに会員の皆様方の御協力のたまもの以外の何ものでもないと思っております。今後も更なる御教示、御鞭撻をよろしくお願い致します。平成16年10月には光市は大和町との合併により、新光市となり、これに合わせて光市立大和総合病院が加わり、現在、総会員数76名で、おそらく光市医師会発足以来、最大数に達していると思われまます。大所帯になれば、それだけ医師会の運営も困難となりますので、会員相互の結束を密にし、助け合う事の重要性が増すことでしょう。又、会員の半数以上が勤務医となりますので、開業医と勤務医の連携が症例検討会と同様に強固なものになる事を希望します。

平成16年は参議院議員選挙にはじまり、「いつでもどこでもだれでも」受けられる国民皆保険制度を守るべく、規制緩和や三位一体改革などの言葉が飛び交う中での混合診療反対署名運動を行ってまいりました。お蔭様で医師会推薦候補の上位当選や混合診療の問題は特定療養費制度の拡充の方向でソフトランディングで落ち着く気配です。しかし、難問題が山積みしているように思われます。会員全体が心を一にして頑張っていきましょう。

平成17年は新光市発足を絶好の機会ととらえて、病診の連携をより密にして、地域に密着した、かかりつけ医機能を発揮し、大和地区への更なる貢献も含めて、酉年にふさわしく大きく羽ばたく医師会であることを願ひまして新年のあいさつとさせていただきます。



先月の医師会長

12月 1日(水)	島田中駅伝走者健康診断	(島田中)
12月 2日(木)	室積保育園健康診断	(室積保育園)
12月 7日(火)	予防接種説明会	(徳山医師会病院)
12月 9日(木)	郡市会長会議 及 忘年会	(山口)
12月14日(火)	12月度理事会	(医師会事務局)
12月16日(木)	光市歯科医師会講演 (商工会館) 及 忘年会 介護認定審査会	
12月17日(金)	光市医師会忘年会	(金久)
12月23日(木)	休日診療所	(アイパーク)
12月26日(日)	緑友会忘年会	

12月の医師会活動

- I. 14(火) 定例理事会
II. 17(金) 光市医師会忘年会

医師会事務局
金久旅館

I. 定例理事会

日時:平成16年12月14日午後7時30分～

場所:医師会事務局

議題:

I. 報告事項

1. 光市社会福祉協議会第3回評議員会 (11/25) (河村会長)
2. 国民皆保険制度を守る県民集会 (11/28) (河村会長)
- 西島英利参議院議員を囲む昼食会 (11/28) (河村会長)
3. 結核の定期予防接種(BCG接種)の法改正に伴う説明会 (12/7) (河村会長)
4. 郡市会長会議 (12/9) (河村会長)
5. 園医・嘱託医の活動等に関する調査 (道上理事)

II. 協議・承認事項

1. 介護認定審査会について (丸岩理事)
2. 忘年会・理事新年会・新年互礼会について (丸岩理事)
3. 産業医選任の推薦について (平岡理事)
4. 合併に伴う入会金について (河村会長)
5. 会計報告(4月～11月) (松村副会長)

資料① 3.結核の定期予防接種(BCG接種)の法改正に伴う説明会

日時:平成16年12月7日

場所:徳山医師会 大講堂

(1)BCG接種に当たっての改正点

1. 接種方法が

「ツベルクリン反応施行 → 陰性を確認してBCG接種」から、「直接BCG接種」となった。

2. 対象年齢が

「生後～4歳未満」から「生後～6ヶ月未満」となった。

(2)光市健康増進課の取り組み

医療機関へのポスター掲示依頼

4歳未満児宅への保健師による全戸訪問

母子手帳交付時など健康増進課窓口での口頭指導、パンフの
挟み込み 光市広報への掲載 など

(3)質疑応答より

(コメントは周南市医師会 保健担当理事;小児科医)

なお、「最終的には自己責任で施行するように」とのこと。

Q. 接種開始年齢は出生直後からという意味であるか?

A. その通りである。具体的に「生後何ヶ月から打つのがよいか」、と問い合わせが来るが、当局としては「生後」としか表現できない。

コ. 諸外国の中には出生当日に接種する国もある。しかし他の国の殆どは皮内接種であり、また結核の浸淫度が違うので、日本での9針管針法による接種と効果、副反応等比較することは困難。

管針法で新生児・乳児期早期に正しく接種することは極めて難しいのではないかと針は同じ大きさで手は小さいので、正しい位置に接種しても衣服に擦れたり肩に架かったりすることが考えられる。現実的には現在の生後3ヶ月くらいからの時期が安全と考えられる。

Q. 6ヶ月未満とは、具体的には?

A. 6ヶ月後の同数日の前日までとなる。「その月一杯」では無い。

例; 12月7日出生児なら、6月6日まで。

8月出生の児は2月28もしくは29日まで。

Q. 6ヶ月を超えた児は自費となるのか? その歳の価格は?

A. 自費となる。価格は自由診療なので、各医療機関で決めて結構。

資料② 4.平成16年度第4回 郡市医師会長会議

日時:平成16年12月9日(木)

場所:山口県医師会 6階会議室

1. 平成16年度第3回都道府県医師会長協議会報告

- ・「医療を守る国民運動」のすすめ方
- ・感染性医療廃棄物の取扱いについて

2. 医療制度改革をめぐって

医療提供体制の改革と医療計画の見直し

九州大学 医療経営・管理学講座 教授

尾形 裕也

4E

equity (公平性)

effectiveness(有効性)

世界一

efficiency (効率性)

empowerment (サービスの受け手に力を与える)?

資料③ 5.園医・嘱託医の活動等に関する調査

山口県医師会常任理事 濱本 史明
各郡市医師会 妊産婦・乳幼児保健担当理事 様

事務連絡 平成16年10月15日

「園医・嘱託医の活動等に関する調査」結果について

妊産婦・乳幼児保健では、平素から種々お世話になっています。

標記の調査は、昨年11月に幼稚園・保育園並びに園医・嘱託医の方々にご協力いただいて実施し、調査結果については、平成16年3月19日付(山医発第782号)をもって貴会にご報告したところです。(この調査結果をもとに園医・嘱託医名簿を作成して送付しています。)

さて、先日(10月7日)開催の郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当理事協議会において、このアンケート調査の幼稚園・保育園からの回答をこれからの園医・嘱託医活動に役立つように地域にフィードバックして欲しいとのご意見がありました。

つきましては、別紙のとおり意見・要望等を郡市別に整理しましたので、貴会での園医・嘱託医活動に是非ご活用 of ほどよろしくお願ひ致します。

幼稚園・保育園関係者から園医への要望です。難しい要望が多々あります。

幼稚園・保育園からの意見・要望等

◇この意見・要望等は、平成15年11月29日から平成15年12月19日に実施した幼稚園・保育園のアンケート調査で回答があったものと郡市別に整理したものです。

郡市	意見・要望等
玖珂郡	子ども一人一人をもう少し時間をかけて丁寧に診て欲しい。
	嘱託医の選定と健康診断を中心とした嘱託医業務は近代的に公正に行われることを強く希望する。
	聴診器を2~3回あてただけで1人1分もかからない程度では健康診断票の項目に記入する事を診察してもらっていない様に思う。
	嘱託医の変更が園側の都合ではづらい。(保護者の要望に応えられない。)
吉南	内科健診後、保護者向けに子どもを診た上での感想、気づき、諸注意、栄養や環境に関する構え等の指導がある。
	保健養護職員を雇う余裕がないので内科健診でこの面のサポートをしてもらっている。
厚狭郡	突発的な事故、疾病等がおきたときの対応。
	各園児のかかりつけ医に園が連れて行っている状態。
	突発的な事故、疾病等がおきたときの対応。

阿武郡	感染症の診断の統一を図って欲しい。
豊浦郡	親への健康教育もして欲しい。
下関市	園医が近いので園外保育(お泊まり保育)には、必ず就寝前の視診をしてもらっている。
	園内における急病、ケガの処置をして欲しい。
	入所児の体調の相談にのってもらっている。今後もサポートして欲しい。
	園児が低年齢化しており園医には小児科専門医を希望。
	日常生活の中で不安に感じたり対応に困った時なども電話で気軽に応じてもらっており、大変心強く感謝している。
	園での与薬が増え続けているが、小児の薬は一日2回(朝夕)をお願いしているが無理なのでしょうか？(保育士の手間が少しでも軽減出来るのですが)
	感染症による休園日数が、医師によりまちまちのため園の対応が難しい。
	耳鼻科、眼科の園医が必要。
	気になる子ども(言語、心身等)について月1回囑託医を囲んで勉強会をしており助かっている。
	園医部会で医師と園長との意見交換、講演会が開催されている。下関市地域感染症サーベイランスも毎週送付がある。
	園児の健康状態(肥満児)の指導は親に対し説得力がある。
保護者向けの講演、相談会を希望する。	

宇部市	障害児等の扱いや親への対応について相談に乗ってもらっている。
	定期健診時だけでなく日常的に子どもの管理についてもっと指導・助言を得ることが出来たらと思う。(園から働きかけをしていない面もあるが)
	地元に着した小児科医のため流行感染症などの情報交換がし易い。
	地域に流行しかかっている病気、対策等早めに連絡していただきたい。
	感染する病気は親にはっきり言って欲しい。
	インフルエンザ流行期の学級、学年閉鎖の目安等教えて欲しい。(インフルエンザと普通の風邪の判断が付きにくい為)
	幼稚園での集団健康診断は必要なものなのか。(個々に病院に行っている様子なので)
	健診は内科のみ、できれば眼科もやって欲しい。
山口市	流行の時期になると園医の方から電話があり指示がある。
	流行の疾病に対し注意事項など情報提供して欲しい。(インフルエンザ、プール熱など)
	保護者への健康教育。
	保護者と子どもの心理的な相談(虐待と思われる家庭との連携など)。
	園医・囑託医の活動範囲(内容)はどのように決められているか？
	小児科医、外科医等も気軽に電話相談できたり、緊急の場合、指示を受けられるシステムがあると心強い。
	検診時だけでなく折を見て園に立ち寄って、子どもや職員と触れあって欲しい。自然体の中で子どもの状況、質問、相談が生まれるのではないかとと思う。
	時間的に忙しいためゆっくり出来ない。
	日頃から流行の病気等連絡があればコンタクトがとりやすい。
	近医の囑託医を希望。
	地域社会との健康ネットワークづくりを進めて欲しい。
	園に対する健康支援は全くない。今後健康管理、流行性の感染症など指導願いたい。幼児にはやさしく、温かい感じで診察して欲しい。

萩市	健診時間が短く、細かい指摘がない。
	脊柱、皮膚健診や子どもへの声掛けなど増やして欲しい。
	子ども達の健康管理等や指導、市内の小児科医とのパイプ役である。
徳山	定期検診時に予防接種の状況、学校の状況の情報を得ている。
	園医に熱心な方とそうでない方の格差を感じる。
	感染症の診断で父兄間で信頼関係が悪くなるため、医師会で統一見解して欲しい。地域に流行している病気を親に知らせて欲しい。
	園医が流行の病気を印刷物で流してくれるのでそれを保護者に渡しており感謝されている。

徳山	保護者への健康管理やインフルエンザ予防等の講演会の機会があればいい。
	報酬の交渉が難しい。
	時期毎の参考になる情報提供や園の状況を尋ねてもらったりすることで連絡のとりやすい雰囲気が出るとうれしい。
防府	医師の立場で保護者向けに講演(保健指導等)希望。
	健康診断は午前中にして欲しい。
	小児科専門を希望しているが田舎のため難しい。
岩国市	障害児療育に対する助言。
	アレルギー・アトピー性皮膚炎児の除去食、代替食などに関する助言。
小野田市	嘱託医(小児科、歯科医各1名)の報酬基準があればご教示いただきたい。
光市	園児の感染症への対応などについて相談・指導が受けたい。
	一人ひとりもっと丁寧に診察して欲しい。
	子ども(2歳未満児)が恐れられないような服装、表情など配慮がもう少し欲しい。
	3日間に分けての健康診断は欠席児の対応もできて助かっている。
柳井	市医師会と柳井市の間で報酬以外に多額の補助金を出して園医をしてもらっているが、園医の仕事については年2回の健康診断のみが主な仕事である。日頃は相談にのっていただく事もなく連絡も取り次いで貰うのも難しい。園として親密な存在であると有難い。
	嘱託医は市医師会から選任されるがその経緯がわかりづらい。
	小児科を中心に市全体の感染症情報の発信、予防策を流して欲しい。
	保育協会とお互いに連絡を取りあって子ども達が健康に生きるためのネットワークづくりをして欲しい。その中で普段よりもっと子どもの状態を質問し易い環境を整えて欲しい。
	集団生活に必要なない、又親の気づかない喉の病気など細かいことでも知らせて欲しい。
長門市	長時間保育の現状で身近な医師の対応。
	流行性の病気の対応、園でのけがの対応等相談したい。職務外なのか？
	私立幼稚園児の健康について行政の支援が全くない。医師会から全県的に働きかけて欲しい。
美祿市	予防医学「風邪にかからないために」「アレルギーにならないために」などの講演をお願いしたい。すぐ病院に行くのではなく基礎知識を学ぶ場となればいい。



Ⅱ.

平成16年度光医師会忘年会

日時:平成16年12月17日(金)午後7時～

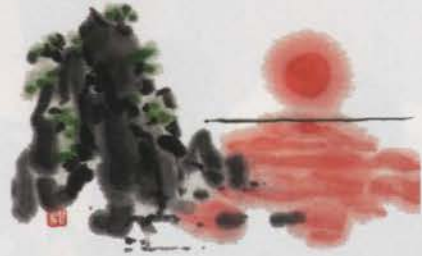
金久旅館





2004年が終わり

2005年が始まります





リレー随筆

気になった一シーン

みちがみ医院

道上文和

疲れた時には無性に暗く寂しい悲しげな映画を観たくなる。しかもそれは古くて無彩色がいい。この前、フェリーニ監督の「道」を観た。粗野な大道芸人ザンパノと彼に買われたちょっと頭の弱い女の子ジェルソミーナとの物語。ジェルソミーナは途中で知り合ったサーカスの男マットに心惹かれる。「道ばたの小さな石ころも価値があるんだ、世の中には意味のないものはない」という彼の言葉に心動かされ、無知で無能な自分にも価値がある、存在理由があると考えようになる。しかし現実にはザンパノにこき使われるだけ、「私を好き？」とか言うようなことを一度ザンパノに聞いているが、「くだらないことを言うな、早く寝ろ」と一喝される。ザンパノは理屈っぽくて冗談好きのマットが気に入らない。喧嘩をして捕まった事もある。運命のいたずらか、旅の途中でザンパノはマットと会い、殴り合いの喧嘩となり、はずみでマットは頭を打ち死んでしまう。「たったの二発で俺は刑務所に行きたくない。俺は生きるために今日を働かなくてはいけないんだ」とザンパノは死体を隠し、普段の生活を続ける。現場を見ていたジェルソミーナはその後気がふれ、「変だよ、頭から血が出てるよ、死にそうだよ」を繰り返す。ザンパノは足手まといになったジェルソミーナを雪の積もる廃墟後に置き去りにして去る。数年後、芸人団の一員となったザンパノはとある村で、ジェルソミーナがマットに教わって吹いていたラッパの曲を耳にする。歌っている女に聞くと、気のふれたサーカスの女がいつもこの歌を歌っていたが、ある日一人寂しく死んでいたとのことだ。場末の酒場で酒を浴び、暴れて追い出されたザンパノが暗い浜辺にたどり着き、水際まで歩いて行って水をすくって顔を洗い、重い足取りで足を引きずって砂場に戻り、どっかと座って天を仰ぐ。そして次の瞬間こみ上げる感情で悲痛に顔を歪め、砂場に突っ伏し肩を振るわせて呻く、両の手で砂をぎゅっと握りしめながら、そして慟哭…幕。戦後のイタリヤ映画で、貧しさの中の人間模様を描いたものである。

前に観た時はジェルソミーナに同調していた。貧しく、頭はきれないけれどもやさしく素直な女性の数奇な人生に涙したものだ。だが今回はちと違う。ザンパノを哀れに思った。ザンパノは決して非人間的な邪悪な男ではない。昔の男なのだ。学はない、知恵もない、ただ体力だけの男が生きるために働いている。仕事が終われば後は酒と女。口べたで愛想なんかない。そんな男がザンパノだ。情報を得て、市場調査をして、金になるビジネスはないかなどと考えもしない。人のために何かできることはないか、奉仕とはなど考える余裕もない、そんな時代でもある。アッシー、メッシーなど異次元の世界である。彼は彼なりにジェルソミーナを愛していたのだと思った。言葉でうまく表現はできず、ただ乱暴に「めし、ふろ、ねる」のかつての男で、女にとっては無骨で乱暴な野獣のような男に見えたであろうが、ザンパノはジェルソミーナを愛していたのである。「やっと口をきいたな、一週間ぶりだ」とか「寒くはないか」「こっちへ来て寝ろ」とか言葉の端々に優しさは見える。私にはそう取れた。が、一般にはそうではないのかもしれない。「女と男のすれ違いはすべての言葉で起こっている」という本があった。男と女では言葉のとらえ方に違いがあるらしい。ザンパノの言葉は女にとってはちっとも優しくないのかもしれない。かつてはそれでも男の威厳で女をねじ伏せていたが、今はとんでもないことだ。ザンパノに少し

でもジェルソーミーナに対する表現方法に知恵があったら、ストーリーは違った展開になったであろうが、それでは映画にならない。

そんなとりとめもないことを考えて観た映画であったが、気になる場面がひとつあった。ジェルソーミーナの死を知ったザンパノが酒場で酔いつぶれ暴れているシーンである。訳の分からぬ酔っぱらいが客に絡む、絡まれた客は、何だどとにらみ返し、手が出て喧嘩になる。そこに店の者が出てきて仲裁に入り、酔っぱらいを外に出す。絡まれた客もついて出てきて喧嘩が続く。仲裁と新たな怒りと酔っぱらいの反撃があった後、最後には酔っぱらいが負け、勝ち組はもうくるなとつばを吐き店に戻ろうとするが、その後ろ姿に酔っぱらいはさらに悪態をつき二度応戦を受け、さらに負けて、去っていく勝ち組に向かってぼろぼろになった身体で、もうこんな店に来てやるか、覚えている、ばかやろうと近くのドラム缶などを蹴り、酔っぱらいが去っていくというありきたりのシーンである。このシーンを観てやさしいなと思ったのだ。この喧嘩はちょっとのけがはあるが、死にはしない。勝った方も負けた方も何とか満足している。ほどほどにストレスを発散している。痛み分けである。現代ならどうかと思った。中途半端なこんな喧嘩ではすむまい。最終的な死まで戦うあるいはいじめるのではないか。なぜだろうか。ザンパノにしてみれば、こんな苦しい生活をしているのだ、いつかいい生活が出来るかもしれない、こんなところで死んだり殺したりしてなるものかと思ったのではないか。苦しさつらさは生きる為のコアだ。物に溢れ物に満たされ、身体の苦しさ辛さを知らぬ現代の人種には、自分に対する人間も物であってうとういしいのかも知れない。うざったいのかも知れない。心の渴きは昔も今も形は変えてはいるが、存在すると思う。生きているのは乾きを埋めたいからだ。思うに、現代は心のない、無機質な物質が多すぎるのだ。一つ一つの物の価値を高めるようにしなければならないと思う。ものを大切に、もったいない、贅沢は敵だとかいう言葉を大切にすべきである。先日、新幹線の中で、もったいないという言葉が書いてあるポスターを見た。よいことだ。どんなものにも存在価値はある。そして、ものは大切にすること、こんな事をこの映画から感じ取った。映画とはおもしろいものだと思う。またいつの日か観たら、また違った事を感じるのであろう。



ホームページだより

何か調べ物をしたい時、皆さんはどのようにされているでしょうか？
ええっ？ そんなことすることないって？ 何かど忘れして、出てこない事ってあるでしょう。そんなとき、調べるのにいい方法がありますので紹介します。
まず、国語辞書です。http://dictionary.goo.ne.jp/ ここをみれば前から、後から、正面から、ついでに和英、英和も辞書引きできます。英語のホームページで是非読みたい時は http://www.excite.co.jp/world/english/ ここですね。
英語からロシア語に翻訳したいなら http://world.altavista.com/ ここです。
また、百科事典引きは http://ja.wikipedia.org/wiki/ ここ。思い出せない諺は http://www.kotowaza-world.com/ ここ。何でもいから調べたい時は http://www.kotoba.ne.jp/ ここ。何だってあるんです。小生は本もPCで読んでいます。そのまま保存すれば、自分のデータベースが出来ます。これも調べ物をする時には強い味方になります。どうしても分からない時は、いろんなMLに上げると、教えてくれる人はたくさんいます。調べれば調べるほど知りたいことは芽づる式に出てきますね。

山口県光市 佃医院
佃 邦夫



連絡事項

受付		発送番号	通達文書名
月	日		
12	1	山口県医師会	厚生労働大臣の定める入院患者救の基準の取り扱いについて
		山口県医師会	経口妊娠中毒薬に関する Q&A の改訂について
		山医連発 13	県医師連盟の活動資金の報告について
		山医発 548	要望文の送付について
		山医発 550	小児救急医療電話相談のポスター送付について
		事務連絡	第38回山口県消化器がん検診講習会出席者名簿の送付について
		山医発 549	平成17年度の広域予防接種について
	3	健康増進 982	心の健康づくりリーフレットについて
	6	山医発 558	調理業務従事者届について
	7	山医発 560	予防接種実施医療機関の調査について (依頼)
		山医発 546	インフルエンザ HA ワクチンの供給状況について
		山医発 562	日本医師会生涯教育制度「認定証」送付について
		山医発 561	感染症情報の掲載 (ホームページ) について
		山医発 555	第1回「指導医のための教育ワークショップ」報告書の送付について
		健康増進 10080	結核臨床研修の実施について
		日本医師会	日医介護保険情報
	10	山医発 557	第39回山口大学医師会・山口大学医学部主催医師教育講座 (体験学習) 「日常診療でしばしば遭遇する眼底疾患」の受講者について
		山医発 564	平成16年度学校医講習会の開催について
		山口県医師会	加湿加湿器における使用上の注意等の改訂について
		山口県医師会	フィブリノゲン製剤納入先医療機関の公表について
		山口県医師会	使用薬剤の薬価 (薬価基準) 等の一部改正等について
		医務 14-9	山口県救急医療情報システムの運用状況について
		山口県医師会	平成16年度社会保険医療担当者 (医科) の集団指導について
	13	山医発 576	研修医のための新たな会員区分の創設について
		山医発 577	日本医師会の会員区分変更に伴う異動手続きについて
		山医発 575	防府地区 ORCA セミナーの開催について
		日本医師会	日医介護保険情報
	14	山医発 579	顕彰の会報掲載について
	15	周健 10400	長期療養児保護者交流会の開催について
	16	山医発 586	国民皆保険制度を守る国民運動についてのお礼と報告
		山医発 578	平成16年度版インフルエンザ Q&A の送付について
		山内医発 12	「地域に密着した医療の実例」調査と原稿募集とポスター送付について
	17	東都医発 1820	平成16年度東京都医師会産業医前期研修会の開催について
		第110回周南医学会	会計報告
	20	山医発 584	山口県医師会表彰規程第2条第4号による表彰 (医学功労賞) について
		山医発 590	子ども予防接種週間について
		山医発 589	第3回広域予防接種運営協議会・関係者合同会議の開催について
		山医発 580	母子保健事業委託委任名簿の更新 (第8次) について (お願い)
		山医発 581	平成17年度がん検診精密検査機関申出の更新について
		山医発 592	第2回山口県医師会 ACLS 研修の実施について
		防府医師会	平成16年度 山口県医師会囲碁大会 ご案内
	21	山口県医師会	フィブリノゲン製剤納入先医療機関の公表に伴う肝炎ウイルス検診の実施に関する Q&A の送付について
		事務連絡	新潟中越地震被災者救援のための義援金協力について
		山医発 602	第55回山口県産業衛生学会 山口県医師会産業医研修会の開催について
		山医発 594	平成17年度大規模治験ネットワーク基盤整備研究事業 (地域等治験ネットワークの整備に関する研究) の新規募集について
		山医発 598	「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部を改正する法律」の施行等について
	22	日医発 977	国民の皆様に対する署名運動のお礼について
	24	山口県医師会	使用薬剤の薬価 (薬価基準) の一部改正について
		山口県医師会	東京都医師会 産業医前期研修会について (ご案内)
		事務連絡	「医療関連サービスマーク認定事業者・施設データブック」の送付について
	27	山医発 607	第40回山口大学医師会・山口大学医学部主催医師教育講座 (体験学習) の受講者募集について



12月休日当番医報

	内科系	外科系
12/ 5(日)	32	6
12(日)	27	7
19(日)	31	7
23(木)	21	9
26(日)	31	3
31(金)	49	13

あ と が き

新年あけましておめでとうございます。昨年暮れに新市光市が誕生しました。医療に対する風当たりがますます強くなってきている現状の中で、会員の皆様のご苦労は増えるばかりで、新年早々気分は晴れません。しかし心機一転、たゆまぬ努力は必ずいい結果を生むということを信じて、市民の健康の為に精を尽くしていこうではありませんか。会報も心機一転と思っているのですが・・・会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

発行所 光医師会
 TEL(0833) 72-2234
 発行日 平成17年 1月10日
 発行者 河村康明
 編集者 広報担当
 印刷所 光市光井一丁目15番20号
 中村印刷株式会社